

# 令和7年度 総合教育会議 議事録（要点筆記）

■日時：令和7年12月24日（水）15:30～17:00

■場所：日向市役所本庁2階 災害対策本部室

## I. 会議出席者

### ■総合教育会議委員

<日向市長>西村 賢 <教育長>三樹 和幸

<教育委員>垣内 正俊、是澤 利保、黒木 智美、児玉 広美

### ■事務局

<教育委員会>堀田教育部長

（教育総務課）鍋島課長、三窪係長 （学校教育課）若杉課長、小野課長補佐、金丸課長補佐

<総合政策部>濱田総合政策部長

（総合政策課）麻田課長、押川課長補佐、山之上主任主事、高村主事

### ■傍聴者・報道機関（なし）

## II. 配布資料

会次第

資料1 日向市総合教育会議設置要綱

資料2 人口減少・少子化の学校のあり方について（協議資料）

資料3 ICT教育環境のさらなる充実と効果的活用の推進（協議資料）

※資料はすべて事前配布。

## III. 会議内容

1. 開会（省略）

2. 市長あいさつ（省略）

3. 協議事項

（1）人口減少・少子化における学校のあり方について

（2）ICT教育環境のさらなる充実と効果的活用の推進

（3）その他

## IV. 協議事項の主な内容

### (1) 人口減少・少子化における学校のあり方について

(事務局)

資料2に基づき説明。

(市長)

- 人口減少に伴う児童生徒数の減少は深刻であり、学校再編が急務となっている。
- 学校は地域コミュニティの核であり、学校再編には地域住民の理解と協力が不可欠。
- 子どもたちの教育環境と社会性を育む環境の整備を最優先に考え、戦略的な学校再編を進める必要がある。
- 現在の出生数から5年先、10年先の児童数はある程度見込めるところから、計画的かつ早期に将来の方向性を示すことが重要。
- 学校再編の議論が属人にならず、持続的に進められる体制構築が必要。

(教育委員)

- 学校再編においては地域住民の平等性・均一性を意識し、通学環境や地域特性を踏まえた対応が必要。
- 地域コミュニティの核としての学校の役割を重視し、市民の意識統一に向けた取り組みが求められる。

(教育委員)

- 少人数での教育環境は多様な考え方で触れ合う機会が限られ、社会性の育成の観点から適正規模の確保が重要。
- 市民の多様な意見を取り入れ、移住者の声も反映した地域の教育環境整備を目指すことが大切である。

(教育委員)

- 戦略的な学校再編の青写真を早期に示し、総論賛成・各論反対があるかもしれないが、地域と丁寧に合意形成を図ることが必要。
- 老朽化や耐震性の観点から優先順位をつけて再編計画を進める必要がある。

(教育委員)

- 人口減少による小規模校増加は避けられないが、学年や発達段階に応じた望ましい教育環境の維持、複数の学級があることによる人間関係の調整のためにも一定の学校規模が必要。
- 地域住民の学校への愛着を尊重しつつ、教育環境の将来像を丁寧に説明し、理解を得ることが重要。

(教育長)

- 将来的な人口減少の緊急性を共有しつつ、地域住民が当事者意識を持ち、多様な選択肢を検討しながら合意形成を図ることが大切である。
- 義務教育の役割として、社会性や人間関係構築能力の育成は不可欠であり、子どもたちに望ましい教育を提供するためには適正な学校規模が必要。

## (2) ICT 教育環境のさらなる充実と効果的活用の推進

(事務局)

資料 3 に基づき説明。

(市長)

- 情報モラルやネットリテラシー教育の強化が求められている。
- ICT 教育の普及により、教員の負担軽減や学習の個別最適化が期待される。
- ICT のメリットを活かし、紙教材とのハイブリッドの利用も重要。

(教育委員)

- ICT 活用はコロナ禍で急速に進んだが、活用度に差があるため持続的な研修や効果的な活用の共有が必要。
- タブレットの持ち帰り学習は学びの継続や不登校支援に効果的。
- 情報モラルや肖像権等の指導強化が課題であり、保護者の理解と協力も重要。

(教育委員)

- ICT 環境は充実しているが、教員間のスキル差が課題。
- 校務支援システムや自動採点システムの活用で教員の負担軽減を図り、子どもと向き合う時間を確保することが必要。
- 新たなクラウド環境整備には人材・予算の手厚い支援が必要。

(教育委員)

- 子どもたちは ICT を自然に使いこなしているが、学校間で活用度に差がある。
- 教員の働き方改革や学力向上に資する ICT 活用を期待。

(教育委員)

- 子どもたちは生まれた時から ICT 環境に慣れているため、大人の意識変革が必要。
- ICT のメリットを最大限活かすため、学校間連携や個別化学習の研究・推進が望ましい。

(教育長)

- ICT は個別最適な学びの実現に有効であり、教員の授業研究や成功事例の共有が重要。
- クラウド化によるデータ管理の安全性向上や自動採点システムの導入で教員の負担軽減を図ることが必要。

## (3) その他

なし。

<会議終了>